

J A胎内市自己改革進捗管理表（平成29年度）

平成30年度の成果目標

①担い手経営体の面積シェア(全水田面積) 60% ②正組合員の維持(3,000人) ③販売品取扱高(合計額) 4%アップ(50億円) ④園芸の販売品取扱高10%アップ(6.5億円) ⑤園芸重点品目作付面積 20%アップ(90 ha) ⑥総合ポイント制度会員の拡大(5,800人) ⑦准組合員数の拡大(2,150人)

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿		四半期別工程(実施具体策・到達目標)				責任部署
		29年度目標	平成29年7月末	平成29年10月末	平成30年1月末	
地域農業の担い手の育成・支援	担い手経営体の育成・支援により、6割の生産をカバーする。	○Web簿記システムの利用者拡大 ○新規就農支援メニューの検討	○Web簿記システム利用者(35名⇒41名) ○新規就農支援メニューの検討会 毎週1回のTACミーティング等で検討(内容及びターゲット)	○Web簿記システム利用者(35名⇒41名) ○新規就農支援メニューの検討会 毎週1回のTACミーティング等で検討(内容及びターゲット)		営農指導課
	評価指標：担い手経営体の面積シェア	対全水田面積58%(2,030ha)	実績63.3%(2,226ha)	実績63.3%(2,226ha)	実績 % (ha)	
	担い手経営体に対するJAの個別対応を強化し、経営を支援する。	○TACと経済渉外、融資専任渉外、LAの連携強化 ○生産コスト低減に向けた提案力の強化 ○各地域内の経営体絞込みによる結びつき強化	○TACミーティングへの経済渉外、融資選任渉外の参加による情報の共有(4月より実施中)	○TACミーティングへの経済渉外、融資選任渉外の参加による情報の共有(4月～月2回開催)		営農指導課
評価指標：毎月1回の担い手経営体への訪問回数	目標：140件/3回	実績：140件/1.5回	実績：140件/1.3回	実績： 件/回		
生涯現役・一生農業運動を展開し、多様な担い手を確保する。	○自給的農家、定年帰農者向け畑作講習会開講	○直売所出荷者を対象とした講習会の開催(3/22) ○職員全体推進による加入促進(4/11) ○1世帯複数組合員化による推進(4/11)	○職員全体推進による加入促進(4/11～)継続実施中 ○1世帯複数組合員化による推進(4/11～)継続実施中		営農指導課	
評価指標：正組合員数	目標：3,100人以上(累計)	実績：3,161人	実績：3,162人	実績： 人以上		

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿		四半期別工程(実施具体策・到達目標)				責任部署
		29年度目標	平成29年7月末	平成29年10月末	平成30年1月末	
園芸生産の拡大	園芸重点品目の生産を拡大し、生産面積90haを達成する。	○砂丘地での生産拡大 ○選果場の整備 ○中山間地品目の定着化	○加工大根作付33ha→37ha ○効率選果の打合せ励行 ○ひまわり切花栽培	○加工大根作付33ha→39ha ○効率選果を図るため毎週掘り取り会議を実施 (1日平均19t) ○ひまわり切花栽培 (3件11a)		営農指導課
	評価指標：重点品目作付面積	目標：85ha	実績：103.5ha	実績：103.5ha	実績： ha	
	重点品目の需要喚起と契約栽培の導入・拡大を図り、販売取扱高を拡大する。 (生食人参・加工人参)	○契約栽培の拡大 ○産地化PR ○販路拡大	○加工人参10ha→15ha ○生食人参24.6ha→26.9ha ○市場と連携の上、PR計画 中、販路拡大中	○加工人参10ha→15ha ○生食人参24.6ha→26.9ha ○県内大手スーパーとの契約出荷を拡大		営農指導課
	評価指標：人参販売数量	目標：1,000 ^{トン}	実績：合計149 ^{トン}	実績：合計323 ^{トン}	実績：合計 ^{トン}	
農産物直売所を生産現役・一生農業運動の拠点と位置づけ、その売上げを25%アップする。	○新規登録生産者の拡大 ○イベント、キャンペーンの通年化	○部会を通じた新規登録生産者の募集(随時) ○年間スケジュールに沿ったイベント・キャンペーンの実施(別紙イベント計画表)	○部会を通じた新規登録生産者の募集(随時) ○年間スケジュールに沿ったイベント・キャンペーンの実施(別紙イベント計画表)		購買課 営農指導課	
評価指標：直売所販売高	目標：9千5百万円	実績：4千1百万円	実績：7千万円	実績： 百万円		

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿		四半期別工程(実施具体策・到達目標)				責任部署
		29年度目標	平成29年7月末	平成29年10月末	平成30年1月末	
米の品質向上と多様な品揃え	土づくり、情報配信の徹底により1等米比率を高位安定化させる。	○土づくり資材の普及拡大 ○生育調査データのフィードバック ○地域銘柄肥料の統一化	○土づくり資材では、重量ベースで前年比110.2% ○営農メール及び畦道通信によりフィードバック ○H30年春肥取りまとめより	○土づくり資材では、重量ベースで前年比110.2% ○米個袋検査結果について営農メール配信 ○H30年春肥取りまとめより		営農指導課 購買課
	評価指標：1等米比率	目標：95%以上	実績： %	実績：90.3% (飼料用米除く)	実績： %	
	コシヒカリ以外銘柄への誘導を進め、多様な品揃えによる需要拡大を図る。	○新品種「新之助」への誘導	○新品種「新之助」の作付面積拡大によるコシヒカリ作付率の減(新之助2.5ha→16ha)	○H30年産に向けた作付品種の検討 ○H30年産新之助作付希望取りまとめ		営農指導課
	評価指標：コシヒカリ作付率	目標：72%以下	実績：73%	実績：73%	実績： %	
差別化商品としての「こだわり米」の取扱拡大する。	○新たな需要の掘り起し ○実需へのセールス活動	○新規取引先開拓訪問(全農と協議中、秋実施予定)	○新規取引に向けた販促活動の実施(12・1月に予定) ○こだわり米区分集荷		利用販売課	
評価指標：こだわり米取扱量	目標：1,700 ^{トン}	実績： ^{トン}	実績：1,308 ^{トン}	実績： ^{トン}		

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿		四半期別工程(実施具体策・到達目標)				責任部署
		29年度目標	平成29年7月末	平成29年10月末	平成30年1月末	
JA事業・イベントを通じた地域の活性化	小学生の農業体験支援の充実。	田植え、稲刈り体験のみ園芸作物の体験を追加(学年等学校と協議)	○田植え、稲刈り体験 ○郊外学習の受入れ(人参・チューリップ球根)	○稲刈り体験 ○郊外学習の受入れ(人参・チューリップ球根)		営農指導課
	地産地消の拠点である直売所を通じた農業と地域経済のパートナーづくり。	○総合ポイント制度を活かした組合員の加入促進 ○イベント・キャンペーンの拡充による来店者の拡大	○職員全体推進による加入促進(4/11) ○イベント開催時における店頭募集(6/3.4) ○イベント・キャンペーン告示(HP・新聞折込みチラシ 随時) ○上期推進実績の取りまとめによる検証と未達成推進の実施	○職員全体推進による加入促進(4/11～)継続実施中 ○収穫感謝祭(10/29)加入ブースを設けて募集実施 ○総合展示会(11/3・4)加入ブースを設けて募集実施 ○総合ポイント会員募集チラシの再作成		企画管理課
	評価指標：ポイント会員の拡大	目標：5,600名(累計)	実績：5,855名	実績：5,954名	実績： 名	
	総合事業を通じた生活インフラとしての機能を維持・発展させるためアクティブ・メンバーシップとしての准組合員の拡大。	○協同組合理念の積極的PR ○アクティブ・メンバーシップとしての准組合員募集	○職員全体推進による加入促進(4/11) ○イベント開催時による募集(6/3.4) ○上期推進実績取りまとめによる検証と未達成推進の実施	○収穫感謝祭(10/29)加入ブースを設けて募集実施 ○総合展示会(11/3・4)加入ブースを設けて募集実施		企画管理課
	評価指標：准組合員数の拡大	目標：2,050名(累計)	実績：1,970名	実績：1,983名	実績： 名	
	准組合員、地域住民にも参加いただける収穫感謝祭の開催。	○新たな企画と若年層へのPR ○広報活動の強化	○収穫感謝祭実行委員会による検討(7/26) ○員外向けチラシ(新聞折込み)による広報活動強化	○収穫感謝祭実行委員会による打合せ(8/7・9/5・10/11) 10/29収穫感謝祭開催 ○組合員広報(10/23～25開催案内手配り) ○地域住民広報(10/26広報誌JAN新聞折込み)		営農指導課 企画管理課